

## 和歌山県レッドリスト(素案)に対する意見募集結果

- ◆ 意見募集期間 : 令和3年1月19日(火)～2月17日(水)
- ◆ 意見募集方法 : 郵便・ファックス・電子メール・持参
- ◆ 意見提出者数 : 11名
- ◆ 延意見件数 : 69件(魚類2件、昆虫類24件、貝類4件、その他無脊椎動物8件、植物18件、生物多様性保全上注目すべき地域13件)

分類群	項目	御意見の要旨	御意見に対する県の考え方
魚類	サツキマス(アマゴ)	分布情報の提供	レッドデータブック作成時の参考とします。
魚類	メダカ	分布情報の提供	
昆虫類	コオイムシ	分布情報の提供	レッドデータブック作成時の参考とします。
昆虫類	ガムシ	分布情報の提供	
昆虫類	オオヒョウタンゴミムシ	分布情報の提供	
昆虫類	ウマノオバチ	学名を以下のとおり修正 <i>Euurobracon yokohamae</i> Dalla Torre, 1898 → <i>Euurobracon yokohamae</i> Dalla Torre, 1898	御指摘のとおり修正します。
昆虫類	コウヤナナフシ	追加候補種(学術的重要) 高野山を基準としており、和歌山県を象徴する直翅類の1種と言える。	御意見のとおり学術的重要(SI)として追加します。
昆虫類	ハマスズ	追加候補種(絶滅もしくは情報不足)	御意見を踏まえ、情報不足(DD)として追加します。
昆虫類	エゾエンマコオロギ	カテゴリーの変更(再発見されていないなら情報不足へ)	御意見のとおり情報不足(DD)に変更します。
昆虫類	カヤキリ	準絶滅危惧としているが、和歌山県内にかなり生息しているのではないか。	生息地の減少が認められるため、素案のまま準絶滅危惧(NT)とします。
昆虫類	クツムシ	準絶滅危惧としているが、和歌山県内にかなり生息しているのではないか。	生息地の減少が認められるため、素案のまま準絶滅危惧(NT)とします。
昆虫類	タイワンクツムシ	準絶滅危惧としているが、和歌山県内にかなり生息しているのではないか。	生息地の減少が認められるため、素案のまま準絶滅危惧(NT)とします。
昆虫類	クロツヤコオロギ	準絶滅危惧としているが、和歌山県内にかなり生息しているのではないか。	生息地の減少が認められるため、素案のまま準絶滅危惧(NT)とします。
昆虫類	ヒサゴクサキリ	追加候補種(準絶滅危惧) 記録が少ない	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)として追加します。
昆虫類	オガサワラクビキリギス	追加候補種(準絶滅危惧または学術的重要) 記録が少なく、本州での確実な産地は和歌山県のみ	御意見を踏まえ、学術的重要(SI)として追加します。
昆虫類	フタツゲササキリ	追加候補種(準絶滅危惧) 記録が少ない	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)として追加します。
昆虫類	クチナガコオロギ	追加候補種(準絶滅危惧) 記録が少ない	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)として追加します。
昆虫類	コガタカンタン	追加候補種(準絶滅危惧) 記録が少ない	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)として追加します。
昆虫類	クロヒバリモドキ	追加候補種(準絶滅危惧または学術的重要) 記録が少なく、本州での確実な産地は和歌山県のみ	御意見を踏まえ、学術的重要(SI)として追加します。
昆虫類	セグロイナゴ	追加候補種(準絶滅危惧) 記録が少ない	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)として追加します。
昆虫類	コウヤササキリモドキ	高野山がタイプロカリティーのため、カテゴリーを学術的重要にしてもよい	御意見を踏まえ、学術的重要(SI)に変更します。
昆虫類	オオアリツカコオロギ	追加候補種(学術的重要) 海草郡紀美野町がタイプロカリティー	御意見のとおり学術的重要(SI)として追加します。
昆虫類	タイワンエンマコオロギ	追加候補種(学術的重要) 本州で確実な産地は紀伊半島のみ	御意見のとおり学術的重要(SI)として追加します。
貝類	スナウロコムシヤドリガイ	追加候補種(絶滅危惧 I 類) 国内では房総半島と紀伊半島でのみ記録がある種。	御意見のとおり絶滅危惧 I 類(CR+EN)として追加します。
貝類	セワケガイ	学名の修正(Borniopsis属に移されている)	御指摘を踏まえ、以下のとおり学名を修正します。 <i>Borniopsis striatissima</i> (Sowerby II, 1865)
貝類	オサガニヤドリガイ	学名の修正(Borniopsis属に移されている)	御指摘を踏まえ、以下のとおり学名を修正します。 <i>Borniopsis macrophthalmensis</i> (Morton & Scott, 1989)
貝類	フジタニコハウノツユ	学名の修正(Tellimya属に移されている)	御指摘を踏まえ、以下のとおり学名を修正します。 <i>Tellimya fujitaniana</i> (Yokoyama, 1927)

分類群	項目	御意見の要旨	御意見に対する県の考え方
その他無脊椎動物	「その他無脊椎動物」への陸水性種の欠落について	コンジテナガエビ、ザラテナガエビ、オニヌマエビ、ヤマトヌマエビなど和歌山の河川淡水域にも生息する比較的希少なエビ類が入っておらず、陸水性の種が欠落している。 エビ類及び陸水生生物に詳しい専門家にヒアリング等を行い、リストに追加すべき種がないか検討すべき。	御意見を踏まえ、陸水性エビ類のうち、提案のあったオニヌマエビ、ザラテナガエビ、コンジテナガエビと検討の結果、シラタエビの4種をリストに追加します。 なお、カテゴリーは情報不足(DD)とします。 ヤマトヌマエビについては、県内では安定して生息していると考えられるため、リストには掲載しません。
その他無脊椎動物	全般	それぞれの種について、候補とした根拠を示すべき。 例えばNTの場合、1)個体数が減少している、2)生息条件が悪化している、3)過去の捕獲・採取圧による圧迫を受けているのいずれかの傾向が顕著な場合とされているが、当該の種がどの項目に該当するのか、それぞれがどの程度に達していればリストアップしているのか、その判断の基準が示されていない。 また、分布、生息状況についてどの程度のデータが把握されているのかが分からない。	いずれの種も、それぞれの種の記録頻度に基づいて候補としています。詳細な情報は、レッドデータブックにおいて記載します。
その他無脊椎動物	ウメボシソギンチャク	岩礁海岸に生息する種の圧迫要因としてどのような内容が想定されているのか。県下の海岸線の大部分を占める岩礁海岸の生物の分布はどれほど把握できているのか。 NTとされているウメボシソギンチャクは、生息環境が波あたりの強い直立した岩場に限定されているものの、そのような場所は県下では珍しくないはずで、リスクに曝されているとは考えにくく、和歌山市加太の海岸では常在している。	岩礁海岸に生息する種については、人為的改変の多寡にかかわらず、生息情報が少なくなっている、あるいは限られている種をリストに取り上げるようにしています。 ウメボシソギンチャクについては、和歌山市加太周辺で現在も多数分布していますが、紀中、紀南では以前記録されたところから消滅していることから、カテゴリーは素案のまま準絶滅危惧(NT)とします。
その他無脊椎動物	ベンケイガニ	候補種から削除 アカテガニと混生し、広く分布している普通種	御意見のとおりレッドリスト候補種から削除します。
その他無脊椎動物	ニッポンオフェリア	カテゴリーの変更(準絶滅危惧以上) 安定した砂質の前浜干潟に生息するが、県下にそのような干潟は少なく、全国的にも希少な種である。	県内における分布状況を、全般的に調査できていないため、素案のまま情報不足(DD)とします。
その他無脊椎動物	クロブチボウセキウロコムシ	カテゴリーの変更(準絶滅危惧以上) 1966年の田辺湾での記録が唯一。体長十数cmの大型種であるにもかかわらず、県下ではその後の採集記録がないことから、生息が既に危機に瀕していると考えられる。	県内での記録は限られていますが、全般的に調査できていないため、素案のまま情報不足(DD)とします。
その他無脊椎動物	ヤドリカニダマシ	カテゴリーの変更(準絶滅危惧) ムギワラムシに依存する本種も連動して評価すべき。	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)に変更します。
その他無脊椎動物	ワダツミギボシムシ	カテゴリーの変更(準絶滅危惧以上) 現状で確認されている生息域が限られているのであればNT以上とするべき。	御意見のとおり準絶滅危惧(NT)に変更します。
植物	ヤナギヌカボ	カテゴリー変更(絶滅危惧 I A類) 近年生育地が極少なくなっている種	CRの評価については生育地点がただ1ヶ所の地点に限られることとしているため、素案のまま絶滅危惧 I B類(EN)とします。
植物	ヒメビシ	カテゴリー変更(絶滅危惧 I A類) 近年生育地が極少なくなっている種	CRの評価については生育地点がただ1ヶ所の地点に限られることとしているため、素案のまま絶滅危惧 I B類(EN)とします。
植物	オグラノフサモ	カテゴリー変更(絶滅危惧 I B類) 近年生育地が極少なくなっている種	ENとVUの評価については生育地点の定量的な目安がないことから、植物専門調査委員会において再検討の後、カテゴリーを決定します。
植物	ナベナ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後カテゴリーを決定します。
植物	カワミドリ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	イヌゴマ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	クマツヅラ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	シオガマガク	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	ヒメシロネ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	ナンバンハコベ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	マツカサススキ	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	カキラン	追加候補種 産地が少ない種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	ヤクシマヒメアリドオシラン	追加候補種	御意見のとおり追加することですが、植物専門調査委員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
植物	シャクジョウソウ	カテゴリーの変更	御意見を踏まえ、植物専門調査委員会において再検討の後、カテゴリーを決定します。
植物	ホナガタツナミソウ	カテゴリーの変更	御意見を踏まえ、植物専門調査委員会において再検討の後、カテゴリーを決定します。
植物	エンシュウムヨウラン	カテゴリーの変更	御意見を踏まえ、植物専門調査委員会において再検討の後、カテゴリーを決定します。

分類群	項目	御意見の要旨	御意見に対する県の考え方
植物	カノツメソウ(ダケゼリ)	追加候補種	御意見のとおり追加することしますが、植物専門調査員会において調査・検討後、カテゴリーを決定します。
生物多様性保全上注目すべき地域	平池周辺	選定基準に⑤を追加 改修やコイの放流、冬季の夜間照明などにより、生物相がかなり貧弱になっている。	御意見のとおり選定基準⑤を追加します。
生物多様性保全上注目すべき地域	切目川河口域	追加候補地(その他無脊椎動物)	御意見を踏まえ、分類群「その他無脊椎動物」、「植物」、「地形・地質」が含まれる地域として追加します。
生物多様性保全上注目すべき地域	紀伊風土記の丘	名称の修正(紀伊風土記の丘および大日山周辺)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	根来山げんきの森と春日神社	名称の修正(根来山げんきの森と春日神社周辺)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	高野山系	名称の修正(高野山周辺)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	白馬・護摩壇山系	所在地の追加(鉾尖岳周辺)	御意見のとおり所在地に鉾尖岳周辺を追加します。
生物多様性保全上注目すべき地域	19果無山脈～22水上の自然林	「果無山脈」として統合すべき	御意見を踏まえ、「果無山脈県立自然公園」として指定されている区域であるため、19果無山脈、21笠塔山周辺、22水上の自然林までを「果無山脈」として統合します。 なお、23要害森山は素案のまま独立した地域とします。
生物多様性保全上注目すべき地域	琴の滝	名称の修正(琴の滝周辺)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	紀伊大島周辺	所在地の追加(通夜島)	御意見を踏まえ、所在地に通夜島と臼島を追加します。
生物多様性保全上注目すべき地域	王子ヶ浜及び孔島・鈴島	名称の修正(王子ヶ浜及び孔島・鈴島周辺)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	熊野川流域	所在地の修正(瀨八丁→瀨峡)	御意見のとおり修正します。
生物多様性保全上注目すべき地域	生態系区分のうち「里山林」について	里山林に限らず、遷移の進んだ自然林、河畔林、社寺林など様々なタイプを含む森林生態系を示すものとして「森林」とすべき	人間活動の関わりが強い生態系として、「里山」に変更し、「山地」としていたものを「森林」に変更します。
生物多様性保全上注目すべき地域	生態系区分の追加	以下の地域に「森林」を追加すべき 1 加太沿岸域、7 龍門山、8 高野山、9 生石高原周辺、11 白馬・護摩壇山系、16 田辺湾周辺、19 果無山脈、20 要害森山、21 笠塔山周辺、22 水上の自然林、23 大塔山系、24 大森山周辺、28 紀伊大島周辺、32 宇久井半島、33 王子ヶ浜及び孔島・鈴島、34 新宮蘭ノ沢浮島の森、35 千穂ヶ峯、36 白見山、37 和田川峡	御意見を踏まえ、1加太沿岸域、16田辺湾周辺、28紀伊大島周辺、32宇久井半島、33王子ヶ浜及び孔島・鈴島、新宮蘭ノ沢浮島の森の生態系区分に「森林」を追加し、その他の地域は、「山地」を「森林」に変更します。